

血液型イメージ調査

62年7月1日

ポーラ文化研究所

<調査>

1. 調査の趣旨

血液型と性格の関係に関しては、一方で人事管理に採用しようという人もあり、他方で全く非科学的とする人もある。ここでは、その直接の真偽は問わず、日常多くの人が血液型を話題にする事実に着目し、一つの文化現象としてとらえるために、血液型と性格の関係に関する“イメージ”を調査することにした。

2. 調査の要約

- 血液型と性格の関係は、「ある程度ヒントになり、話題として面白いと気楽に考えている人が大多数である。」
- A型に多くのイメージが集中し、AB型はイメージが希薄である。
- 各血液型のイメージは
 - A 型：几帳面、生き方は保守的、カタブツ
 - B 型：ユニーク、面白い事を見つけて来るのが上手
 - O 型：細かい事にこだわらない、感情面であっさりしている、楽しい人
 - AB型：本音が何処にあるのかわからない
- 「血液型」に関するイメージは本など外部の情報にかなり対応しているが、それらの情報に強く規制されてはいない。

3. 回答者：首都圏に住む会社員221名、うち男117名、女104名。年齢は20代99名、30代72名、40代37名、50代11名、60代1名。

<お問い合わせ先>

- ボーラ文化研究所（村沢）

<調査の結果>

1 回答者の血液型

A型88名、B型51名、O型62名、AB型16名、不明4名で、不明の者4名をのぞくと、A型41%、B型24%、O型29%、AB型7%。

なお、昭和61年にポーラ化粧品本舗が50万人を対象に実施した素肌に関するアンケートの結果によると、A型39%、B型21%、O型30%、AB型10%であり、今回のアンケートの対象者には、大きな偏りはない。

2 血液型の論じ方

● 血液型と性格の関係をどう思いますか？ 番号を○で囲んで下さい（複数も可）。

- | | |
|--|-----|
| 1) 血液型で性格が分類でき、人間関係の調整に有益である。 | 10% |
| 2) 血液型によって人の性格を正確に言い当てるのは無理だが、人の性格にはタイプがいくつかあると考えるうえでヒントになる。 | 71% |
| 3) 関係があるかどうかよく分からないが、話題として面白い。 | 50% |
| 4) 関係ないと思うが、皆が話題にするので合わせている。 | 6% |
| 5) 全く非科学的であり、話題にしたくない。 | 2% |
| 6) 人を分類しようとすること自体、間違っている。 | 5% |
| 7) その他 | 3% |

（パーセンテージは回答数の全回答者数に対するパーセンテージ）

この結果をみると、「血液型」を全面的に信用する人も、逆にはっきりと否定する人も、比率としては少ない。

ある程度ヒントになり、話題として面白いと気楽に考えている人が大多数である。

3 血液型と性格に関する印象

『血液型大図鑑』（上野天鼓著 ブランニング秀巧社刊）で各血液型に該当するか、または一般にそう思われがちと述べられている性格を抜取り、その性格を何型に該当すると思うか回答してもらった（複数回答含む）。集計結果を下表に示す。血液型大図鑑の欄は本で各性格が該当またはそう思われがちと述べられている血液型名を記載し、アンケート欄には該当すると、一番多く回答された血液型の下に回答数の全回答者数に対するパーセンテージで記入した。

性 格	性格に該当する血液型				
	血液型大図鑑	アンケート			
		A	B	O	AB
1) ストレート	O		40		
2) 面白い事を見つけて来るのが上手	AB		40		
3) 建前と本音がある	A	43			
4) 茶目っ気が多い	B		37		
5) 生き方は保守的	B	66			
6) 本音が何処にあるのか分からない	AB				48
7) デリカシーのない人が嫌い	A	46			
8) ユニーク	B		50		
9) 心配されたい、かまわれたい	A	23			
10) オオザッパかと思うと、意外に神経質	O			42	
11) 感情表現が下手	A	34			
12) 頑固者	B	31			
13) 細かい事にうるさそうで実はズボラ	A	23			
14) 実力以上の事を引き受ける	AB			24	
15) 細かい事にこだわらない	O			57	
16) 感情面であっさりしている	AB			32	
17) 社交辞令が苦手、口ペタ	B	32			
18) ヘソ曲り	AB				30
19) 楽しい人	B			41	
20) 当りの柔らかさと裏腹に頑固で保守的	B	40			
21) しつこさを軽蔑	AB		22		
22) フランクで明るい	O			45	
23) 内気	A	49			
24) とぼけた雰囲気	B			29	
25) 好き嫌いがはっきりしている	O		43		
26) 素直になれない	AB		21		
27) おだてに弱い	B		33	33	
28) 個性第一主義	O		46		
29) 言う事がコロコロ変る	AB		34		
30) やさしい	A	36			
31) テレ屋	A	29			
32) 家族を大切にする	A	34			
33) 可愛くない	AB				20

34) マイペース	B	49
35) 真面目	A	68
36) 単純	O	39
37) 几帳面	A	70
38) 生活を楽しむ	AB	29
39) 頭が悪い	O	7
40) カタブツ	AB	39
41) 律義	A	51
42) ガサツ	O	34
43) 勤勉	A	55
44) 意固地	AB	24
45) 規則を守る	A	61

上表をアンケート結果を中心に、血液型別に整理しなおしてみると次のようになる。括弧内は、数字は回答数の全回答者数に対するパーセンテージ、アルファベットは『大図鑑』で該当するとされた血液型。倍角は『大図鑑』分類の血液型の中での、回答者が一番多い項目。

A型

几帳面 (70, A)、**真面目** (68, A)、**生き方は保守的** (66, B)、**規則を守る** (61, A)、**勤勉** (55, A)、**律義** (51, A)、**内気** (49, A)、**デリカシーのない人が嫌い** (46, A)、**建前と本音がある** (43, A)、**当りの柔らかさと裏腹に頑固で保守的** (40, B)、**カタブツ** (39, AB)、**やさしい** (36, A)、**感情表現が下手** (34, A)、**家族を大切にする** (34, A)、**社交辞令が苦手**、**口ベタ** (32, B)、**頑固者** (31, B)、**テレ屋** (29, A)、**意固地** (24, AB)、**心配されたい、かまわれたい** (23, A)、**細かい事にうるさそうで実はズボラ** (23, A)

B型

ユニーク (50, B)、**マイペース** (49, B)、**個性第一主義** (46, O)、**好き嫌いがはっきりしている** (43, O)、**ストレート** (40, O)、**面白い事を見つけて来るのが上手** (40, AB)、**茶目っ気が多い** (37, B)、**言う事がコロコロ変わる** (34, AB)、**おだてに弱い** (33, B)、**しつこさを軽蔑** (22, AB)、**素直になれない** (21, AB)

O型

細かい事にこだわらない (23, O)、**フランクで明るい** (45, O)、**オオザッパかと思うと、意外に神経質** (42, O)、**楽しい人** (41, B)、**単純** (39, O)、**ガサツ** (34, O)、**おだてに弱い** (33, B)、**感情面であっさりしている** (32, AB)、**とぼけた雰囲気** (29, B)、**生活を楽しむ** (29, AB)、**実力以上の事を引き受ける** (24, AB)、

頭が悪い(70, 0)

AB型

本音が何処にあるのか分からない(48, AB)、ヘソ曲り(30AB)、可愛くない(20, AB)

上述の各血液型で、回答数が多い性格の順に記入したので、A型では「几帳面」、B型「ユニーク」、O型「細かい事にこだわらない」、AB型「本音が何処にあるのか分からない」が各血液型の代表イメージということになる。

これらは、『大図鑑』の性格分類とも一致するものであるが、アンケート結果と『大図鑑』とが一致しないものもある。

たとえば、アンケートでA型とされたもののうち、『大図鑑』でB型とされるものの代表は「生き方は保守的」、AB型とされたものの代表が「カタブツ」である。同様に、B型のうち、O型とされるものは「個性第一主義」、AB型とされるものは「面白い事を見つけて来るのが上手」。O型のうち、B型とされるものは「楽しい人」、AB型とされるものが「感情面であっさりしている」というようなズレがある。

そして、『大図鑑』で他の型とされたものがアンケートでA型とされたものはあるが、『大図鑑』でA型とされたものでアンケートで他の型とされたものはない。逆に、『大図鑑』でAB型とされたものがアンケートで他の型とされたものはあるが、『大図鑑』で他の型とされたものでアンケートでAB型とされたものはない。つまり、

A型に多くのイメージが集中し、AB型はイメージが希薄である。

AB型のイメージが「本音が何処にあるのか分からない」ということとも一致しているといえよう。

また、『大図鑑』とアンケート結果とで、日本人の二大血液型、A型とO型との間に項目の交換がないことも、興味深い。

結果として各血液型の性格イメージを考えるにあたって、回答数の上位の項目をもって代表させるのが一般的と思われるが、『大図鑑』の分類とのズレに回答者たちのイメージが反映されていると考え、倍角文字で上記に示した項目で代表させることにする。その結果を次に示す。

A型

几帳面、生き方は保守的、カタブツ

B型

ユニーク、面白い事を見つけて来るのが
上手、個性第一主義

O型

細かい事にこだわらない、感情面であっ
さりしている、楽しい人

AB型

本音が何処にあるのか分からない

という具合に順位を中心にみると、各血液型が、それぞれに、それなりの完結した、そ
して

外部の情報ともかなり対応したイメージ

でとらえられていることが分かる。しかし全体に回答されたパーセンテージが低いこと
からみて、それは漠然としたイメージの膨らみであり、

外部の情報に強く規制されたものではなさ
そう

である。

このレポートは、血液型と性格に関する“イメージ”について調査した結果を報告す
るものであり、血液型と性格の關係に直接言及したものでないことを付記します。ちな
みに、前述の50万人の調査によれば、血液型と肌性とは關係がないとのことである。
(『POLA「素肌白書」』参照)

以上